第1回労働学校おわる

24名に輝く終了証

去る十月六日からはじまった三池労組の第一回労働学校は、十二月十二日で一切の講義をおわり、十五日午後五時半から終了式がおこなわれた。

二十回の講義の三分の二以上を出席した二十四名の人々に宮川組合長から「終了証」と記念品として故鈴木茂三郎氏の色紙が手渡された。

また、皆勤した中村さん、引田さん、藤田さん（いずれも四山）には、とくに特別賞として新刊の鈴木茂三郎選集第二巻が組合長のサイン入りで贈られた。

第一回労働学校の終了者はつぎの通り。

宮浦
猿渡　孝良さん
斉藤　一好さん
松永　元治さん
朽綱　勝喜さん
猿渡　宗男さん

四山
引田　慶一さん
中村　大助さん
引田　芳子さん
蒲池　哲夫さん
田代　政則さん
高口　哲雄さん
藤田美代子さん

三川
村上　知行さん
木永　国雄さん

本部
橋口　初義さん
池松　正文さん
池畑　重富さん
谷端　一信さん
清水　栄子さん

本所
米村　稔さん

港務
黒田　栄吉さん

本部
松藤　治子さん
本広　寿子さん
島田　幸枝さん

『命ある限り』を読もう!!

三池労組はさきの一一・九を記念し、全国に向かってさらにCO闘争の火を広げるために、「生命ある限り」（第二集）を発行しました。

内容は遺族やCO患者家族の怒りの文や座談会記事にこの著の主題である「CO闘争の経過について」、さらに見のがしてならない各種の「資料」を紹介しています。

とくに「CO闘争の経過について」は、たんに闘いの足跡をたどるばかりでなく、闘いの本質を、しかも闘いの具体的な経験の中からひき出しており、今後の前進にとって自信を与えるに違いありません。ぜひ読みましょう。（一冊百五十円）

加古川・高砂守る会発展

機関紙〝いぶき〟創刊

記事　三池のように闘おう

こんど〝加古川・高砂地区CO中毒患者を守る会〟が、ついに機関紙の発行に成功したことは、運動の中心になってCO闘争・命を守る闘いをすすめている三池労組にとって、心強いかぎりというべきである。

CO守る会が独自にその手で機関紙を発行している例は、東京都の練馬CO患者守る会についで加古川・高砂地区守る会が二番目である。

機関紙の名〝いぶき〟。創刊号（十二月一日発）で見ると、ガリ版ズリのもので、タブロイド型二ページ。同守る会がさきに開催した（本紙前号で伝えた）〝三池大爆発七周年記念集会〟に関する特集となっている。

苦しかった足どり

機関紙発行に成功するまでの加古川・高砂地区守る会の歩みは、決してナマやさしいものではなかった。

五月十七日、結成準備会開催。十名参加。

六月十四日、守る会結成大会開催。十六名参加。

七月一日、第一回幹事会。原爆記録映画上演活動打ち合せ。

同月八日、第一回学習会。ヒロシマノートを中心に。

同月二十一日、全体集会。原爆映画上演計画製作。

同月二十七日、第二回学習会。ヒロシマノート。

八月一日、原爆記録映画〝ヒロシマ・ナガサキ一九四五年八月〟を上映。百～三十名参加

同月十日、右映画会総括。

同月二十六日、第三回幹事会。「公害」にとり組み開始。

九月七日、第三回幹事会。

同月十七日、第三回学習会。

「イタイイタイ病」について。

十月一日、第四回学習会。右同

十月十九日、第四回幹事会。十一月七日の〝大爆発記念集会の件〟打ち合せ。

同月三十七日、右件で全体会議

同月三十日、集会準備会。

十一月三日、大パノラマ作製。

十一月七日、〝三池大爆発七周年記念集会〟。参加者五十名。

同月十七日、集会の総括集会。

そして、十二月一日ついに機関紙〝いぶき〟発刊。

はげます三池の姿

・なお同創刊号は一面トップの記事で「職場で反合理化闘争を強化し、CO守る会を前進させよう」と訴えているが、同記事はさらに述べている――「疲労やゆきづまりを感じるとき、いつも私たちを支えてくれたのは三池の労働者の気高くたくましい姿ではなかったでしょうか。……非情な資本主義的合理化攻撃を受け、必死の抵抗の中でかろうじて人間としての尊厳を守り抜いている三池の労働者は、単に労働者としてすぐれているだけでなく、人間として輝きをはなっています。

……私たちのCO守る会に要求されることは、現在に生きる喘ぎの言葉でも、運動のゆきづまりを具体的方針をゆがめることによって打開することでもなく、自からの置かれている立場と状況を勇気をもって見極め、三池の労働者のように忍耐強く生きることは闘うことであるとの真念を貫くことでなければなりません。やがてくる日に正しい道を歩んだといわれるような、CO守る会の歩みを築きあげようではありませんか」。

加古川・高砂地区CO患者守る会は、こうして歩き続けている。

加古川・高砂守る会機関紙

今後粘り強く闘うつもりです

労組器労紙連合からのたより

先日はご多忙のところ、私たちのためにお世話をしていただきありがとうございました。職場活動家との交流、地域や主婦会との交流と大変勉強になりました。

平均年令四十三・四才というハンデーを克服し、胸を張って正しい労働運動を今後も継続され、三池に再び統一と団結の日が一日も早くおとずれることを期待し、祈らずにはおれません。

「労働強化と差別に対し闘う三池労組」「真に健康と生命を守るために、先頭に立って闘う三池労組」に、今後一層の奮闘を期待してやみません。私たち連合紙器労組の二十三名も歯をくいしばり、闘う総評の仲間とともに今後ともねばり強く闘い、自からせい一杯活動する中で、明るい展望を切り開いてゆく決意です。

また機会を見て、経験の交流をお願い致します。宮浦指導部、大砂地域、主婦会の皆さんによろしくお伝え下さい。ともにがんばりましょう。

×

この便りは宮浦指導部へ、「北九州市小倉区赤坂延命寺三〇番地」の連合紙器労組小倉支部の室園孝治さん方、先日宮浦指導部との交流を終えて帰られた人たちから届いたものです。私たちはこのような交流と連帯を、いっそう大切にしてゆきましょう。

鉛中毒患者の賃金補償獲得

北国新聞労組（金沢）はこれまで年一回の鉛中毒検診を行なわせてきたが、ことしからは尿中鉛のほか血中鉛の検査も実施させた。その結果第一次検診で十人が陽性となり、精密再診をしたところ四人の要注意、うち一人が「予防規則」基準をこえていた。同労組はこのため①労働条件の改善、②鉛中毒予防規則の重視、③予防と健康管理の徹底など会社側にせまり、基準をこえた一人には賃金の完全保障、要注意者はケースにより準公傷扱いを適用、など勝ちとった。（新聞労連）【KNA】

豆ニュース【KNA】

沖縄軍事法廷。ひき殺し事件の米兵に無罪。「判決理由いえぬ」

この非道、ゆるすな。

×　×

ニクソン「北爆再開ありうる」と言明。狂人に刃物ほどこわいものはない。

×　×　×

日本経済の高度成長の秘密は終身雇用制度、年功序列賃金、企業別組合とOECD調査団。ナルホドネ。

×　×　×

政府の公共料金値上げストップ方針。郵便料、医療費、消費者米価などは別デスョ。

×　×

デパートは〝史上最高〟の人と売り上げ。歳末狂想曲の笛を吹くもの、踊るもの。

今後も労働者として闘ってゆく決意です

退職者＝高田安雄さんから便り

拝啓先般行なわれました停年退職者の表彰に際しましては、折角お知らせ受けたにもかかわらず、私用のため出席できませず失礼致しました。二昨十三日、三川指導部より表彰状、ならびに記念品を頂き、有難く戴きました。厚くお礼申し上げます。

昭和二十二年十二月三井鉱山入社以来二十二年余、その間職場委員として、昭和二十八年より中央委員会の末席を汚して以来十数年間、中央委員、あるいは地域分会長として闘いの中に終始してきましたただけに、組合からも去り難くく、また表彰式にも是非出席したいと考えていましたが、やむを得ないことながら出席できなかったことを甚だ残念に思っています。

三井鉱山は退職しましても、労働者階級からの退職を意味するものではなく、むしろ今後は未組織労働者の中にあってますます酷しい条件の中での闘いが待って居ります。それだけに三池労組を中核とした幅広く、強い連帯こそが必要かと考えています。

中でも「生命を守る」闘いこそ何にもまして尊く、大事であること、すなわち健康こそ労働者の最大財産であることを、退職後の新たな闘いと思い合わせつつ強く感じている次第です。

今後共ご指導をお願い致しますとともに、組合員ご一同様のご安全を祈って居ります。

×

右は、宮川組合長に対して寄せられてきた便り。

なお安田さんのお住いは「熊本県玉名郡長洲町駅通り」